

今、ひとつになりて、
行かん

Now, joined as one, we go

この太鼓、いのちの希望を奏でる。
Experience the sounds of taiko, and witness the story of life's hope emerge.

蒼の大地

AONODAICHI
JAPAN TOUR

2013年3月23日[土] 16:00開演
[15:00開場]

第28回 親子文化を育てる会 和太鼓公演

◆出演 / 志多ら
◆ゲスト出演 / 新美清彦 ◆創作書 / 愛芽 umi

蒲郡
公演

蒲郡市民会館 大ホール

全席指定 S席・4,000円 A席・3,000円
中学生以下一律・3,000円 / [当日各500円増]

◆4才以上は、チケットが必要となります

◆チケット販売所 / 親子文化を育てる会 0564-62-2390 (ももの木保育園 / 平日9:00~17:00)

蒲郡市民会館 0533-67-5151・幸田町民会館 0564-63-5181

志多ら 0536-76-1708 (9:00~17:30) ©チケット一般発売日12月2日(日)

◆志多らホームページでも購入できます www.shidara.co.jp

お問い合わせ 親子文化を育てる会 0564-62-2390 (ももの木保育園 / 平日9:00~17:00)

観る奥三河
光る大さ河
大使と

人を結びいのち奏でて、
伝統を無舞う。

志多らが永劫の拠点と選んだ
天竜水系奥三河東栄町。

この地のぬくもりにも
生かされ、育まれ、

私たちは今日まで来ました。

古より繰り返される

神と人との暮らし、

神聖な祭りから、何を学ぶのか。

「蒼の大地」これは、

人々の平和と生きるドラマを

表現しています。

水・風・岩・地・花・陽・

雲・火・鳥・草・虫・空

そして、

新しい生まれ変わりの空間。

12曲からなる

志多らの音の世界で

お会いできることを切に願って…

蒲郡で「蒼の大地」の

舞台に立てることをとても

嬉しく思っています。

みなさんへの

感謝の気持ちを、

ステージから全力で

届けたいと思います。

地元蒲郡出身 佐藤愛也



「蒼の大地」を観て…

親子文化を育てる会の方から感想をいただきました。

太鼓や笛の音色が響き渡ると、奥三河の景色が浮かび、でも美しさだけではない、自然の厳しさ、強さ、ぬくもりが伝わってきました。やはり、それは自然と共存し、生活している志多らの生き方が出ている舞台です。 ◆50才男性

100分間、太古の森の中へひき込まれて、自分(人間)は自然の中で生かされている小さな存在だと気づかせてくれました。 ◆3児の父

この舞台からは、生命や自然に対する敬意が感じられ「生きる」根本を見つめなおす、新鮮な気分がさせられました。今だからこそ、ひとりでも多くの人と共感したいと思いました。 ◆2児の父

四季のおとずれ、月日の営みはそのままなのに、人々の生活が速さ、便利性を求めて変わっていきます。そして、それとともに人の心は……？ そんな危惧を感じる時、この志多らの舞台は答えを気づかせてくれるよ思います。 ◆小・中・高校生の母

◆出演	志多ら	◆照明	稲垣清行 ステージクリエーションイナガキ
◆ゲスト出演	新美清彦	◆音響	神野康利 (有)サウンドライブ
◆企画・構成・演出	茶鶏(ちゃぼ)	◆踊り指導	加藤木朗
◆原作ストーリー創作書	愛芽 ume	◆写真	宮城谷好是
◆衣装プロデュース	荒川美智子 (デザイナー)	◆チラシデザイン	(株)エクスラージ
◆舞台監督	幾島道宣 (株)シーエスエス総合舞台	◆制作	(有)志多ら

蒼の大地 序章

むかしむかしの大昔、水と緑の星が生まれました。「なんて美しい星なんだろう。この星をみんなで作ってあげよう」白い神様は、この星を「蒼の大地」と名付け、星を守る十二の鬼神様を選びました。

水鬼(みずおに)、風鬼(かぜおに)、岩鬼(いわおに)、地鬼(ちおに)、花鬼(はなおに)、照鬼(てるおに)、雲鬼(くもおに)、火鬼(ひおに)、鳥鬼(とりおに)、草鬼(くさおに)、虫鬼(むしおに)、空鬼(そらおに)。

そして白い神様は、水鬼(龍)の鱗を一枚引き抜き、呪文を唱えると、鱗は億万のかけらに砕け散り、ひとつひとつが蒼の大地に住む、蒼き人になったのです。

蒼き人は、十二の鬼神様とそれぞれの約束をかわしました。

水鬼神の化身である龍との約束は、「水を汚さないこと」 風鬼神との約束は「風の声をよく聞くこと」 岩鬼神との約束は「欲のためにほりださないこと」

地鬼神との約束は「地はだれのものでもないことを忘れないこと」

花鬼神との約束は「花に優劣をつけないこと」 照鬼神との約束は「太陽の陽への敬意を忘れないこと」

雲鬼神との約束は「雲のような柔軟な心を忘れないこと」

火鬼神との約束は「時にぬくもりとなり、時に燃えつくす火の加減を知ること」

鳥鬼神との約束は「分け与える心を忘れないこと」

草鬼神との約束は「じやまなものは一つもないことを悟ること」

虫鬼神との約束は「虫の知らせを素直に受け取ること」 空鬼神との約束は「空の広さを感じること」

白い神様もみんなに言いました。

「それとも一つ。十三個目の約束です。年に一度、星におひさまの助けの力が弱まる日が来ます。そのときに、私と十二の鬼神を呼びなさい。過ぎた一年の話をしましょう。

そして、新しい一年の話をしましょう。さあ、いってらっしゃい。」

それから長い長い年月、蒼き人たちと鬼神様たちとの約束は、大切に行われ続けていきました。しかし、いつの頃からでしょうか、自分のことだけを考える蒼き人ばかりが増え、

鬼神様たちとの約束を知るものは、ほとんどいなくなってしまうのです… (原作者/愛芽ume)



いのち
生命あふれる舞台を、未来を生きる子どもたちへ
そして、今を生きているひとりでも多くのみなさまと共有できることを願っております。

チケットお申込み・お問い合わせ

親子文化を育てる会 TEL0564-62-2390 (ももの木保育園/平日9:00~17:00)

太鼓の里 新 浅野
商標登録

株式会社 浅野太鼓楽器店
〒924-0051 / 石川県白山市福留町587-1
TEL076-277-1717(代) FAX076-277-2228

財団法人 浅野太鼓文化研究所
〒924-0051 / 石川県白山市福留町586
TEL076-277-1721 FAX076-277-8777

浅野太鼓祭司株式会社
〒924-0051 / 石川県白山市福留町148
TEL076-277-1277